



平成24年7月19日

特別講演会「最後の素粒子 ヒッグス粒子」を開催

<概要>

岡山大学では、平成24年8月1日に特別講演「最後の素粒子 ヒッグス粒子」を開催します。

物理学の標準理論で17種類あるとされる素粒子の中で、唯一見つかっていなかったのが「ヒッグス粒子」です。この粒子は万物の質量の起源と考えられています。先日スイスのCERNの加速器LHCによる実験で、この「ヒッグス粒子(?)」と考えられる新粒子を発見したという発表がありました。本講演会では、この実験に加わった中野教授(岡山大学理学部附属量子宇宙研究センター長)らが、宇宙、素粒子物理、質量の起源について、一般向けにわかりやすく解説します。

<本文>

1. 日時・場所

【日時】平成24年8月1日(水) 14:00~16:00

【場所】岡山大学創立五十周年記念館 多目的ホール

2. 講師・演題

講演①「宇宙から探る素粒子物理」

石野宏和 准教授(岡山大学大学院自然科学研究科・理学部物理学科)

講演②「ヒッグス粒子(?)の発見」

中野逸夫 教授(岡山大学理学部附属量子宇宙研究センター長・
大学院自然科学研究科・理学部物理学科)

3. 対象 高校生、大学生 及び 一般の方

4. 定員 200名(参加費無料・申込不要)

<お問い合わせ先>

岡山大学自然科学研究科等理学部事務室

(電話番号) 086-251-7764

(FAX番号) 086-251-7777